



2026年 10月3日(土) 礼拝メッセージ 菅原亘 牧師

みことば:第Ⅰ テモテへの手紙 4章1節～16節。

メインタイトル:交わりの回復 サブタイトル:「敬虔こそ真の利益」

いよいよ秋本番の10月に入りました。皆様のご健康がと安全が守られて日々爽やかな秋空の下で幸いな日々となりますようにお祈りします。

1・終わりの時代の特徴

惑わす霊と悪霊の教えが横行する。そして信仰から離れる人がいます。
霊的高慢は滅びに先立つ「他の人の信仰を否定して自分が正しく霊的であると主張する人は要注意」 第二テモテへの手紙3章1節～5節。

2・嘘つきどもの偽善、良心が麻痺している。

結婚を禁じる教え。食物を断つ教え。
感謝して食べるなら捨てるべきものは何一つない
神のことばと祈りによってきよめられる。食物規定から解放された異邦人使徒の働き15章1節～20節、28節～29節。
「偶像に捧げた食物、血、絞め殺したもの、不品行」を避ければそれでOK

3・空想話を避けなさい。(系図、無益な議論、ギリシャ神話、、)

第一テモテへの手紙1章3節～4節、2章15節～17節、6章20節。
第二テモテへの手紙4章4節～5節。
テトスへの手紙1章14節。
俗悪な無駄話。霊知(グノーシス主義)

4・敬虔こそ真の利益(神が共におられることが祝福です)

敬虔とは神様との健全な個人的関係。畏れるべき方を畏れる。
偉大な聖なる方の前にひれ伏す態度。
第一テモテへの手紙6章5節～6節。

5・若くても良き指導者になれる

ことば、態度、愛、信仰、純潔、信者の模範、聖書朗読教えに専念
第二テモテ2章15節～17節。

6・按手を受けた時の預言によって与えられた聖霊の賜物を軽んじてはならない

長老たちによる按手と預言について
第二テモテへの手紙1章6節。